

おかあさんのみみはじごくみみ

「あとでおかしたべようか。」

いつしよにてれびをみていたおとうさんが

こつそりちいさなこえでいった

わたしもなぜだかまねをして

おとうさんよりもちいさなこえで

「うん！たべよう！」

といった

「だめ!!」

となりのへやにいたおかあさんがいった

なんでおかあさんにきこえたんだろう

ちいさなこえでいったのに

「おかあさん、じごくみみだねえ。」

じごくみみ？

じごくにおちてしんじやうつてことかなあ？

こわかったけどきいてみた

「おとうさん、『じごくみみ』ってなあに？」

「それはね、ひみつのはなしも

ぜんぶきこえちやうつてことだよ。」

「へー。そうなんだあ。」

ちよつとあんしんした

でも、ひみつのはなしがきこえちやうのは
いやだなあ

おかあさんのみみは

じごくみみ

どんなにちいさなこえでいっても

ぜんぶきこえちやう

いやなみみ

「でもね、なぎ。おかあさんのじごくみみは

なぎのはなしをよくきいてくれてるからだよ。」

おとうさんがおしえてくれた

そつかあ

ちよつとうれしくなった

おかあさんのみみは

じごくみみ

わたしのはなしをよくきいてくれる

だいすきなみみ

おかあさん

きょうもおはなしきいてね